

ネイリスト技能検定試験『1級実技試験』

2020年8月21日改定

【トレーニングハンド見本画像】



トレーニングハンドの見本です。これらに類似するものを使用して下さい。トレーニングハンドの使用については『トレーニングハンド規定』に従って使用して下さい。

トレーニングハンドの使用は、右手と左手を1セットです。



左右が揃わない場合は下記のパターンでも構いません。

右手と右手



左手と左手



実技試験で使用の際は、「右手」「左手」が分かるようにトレーニングハンドの手首(手の甲側)の位置に「右手」「左手」と記載した品名ラベルを貼付するか、黒マジックで事前に記入して下さい。

《品名ラベルを貼付》

- ①左手と右手を使用の場合



- ②右手と右手を使用の場合はどちらかに「左手」と貼付



- ③左手と左手を使用の場合はどちらかに「右手」と貼付



《黒マジックで記入》

- ①左手と右手を
使用の場合



- ②右手と右手を
使用の場合は
どちらかに
「左手」と記入

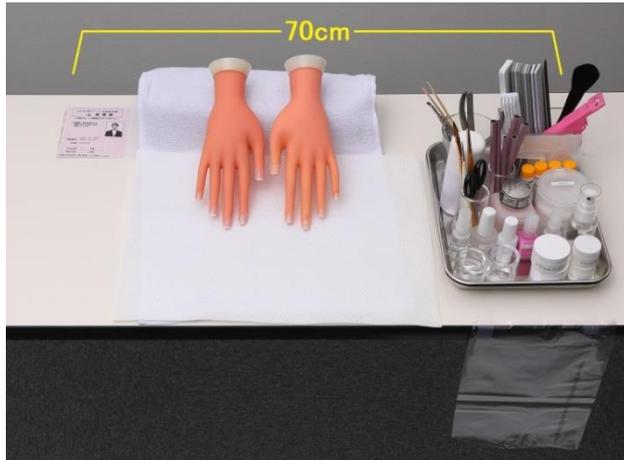


- ③左手と左手を
使用の場合は
どちらかに
「右手」と記入



《1級テーブルセッティング例》

隣の席との距離を少しでも確保するため、なるべく幅70cm以内に収めていただきます。



《指間へ挟み込みを行った例》

指間が広げにくい、広げても元に戻りやすい場合、指間への挟み込みを消毒済みのCカーブ用スティックのみ使用可能とします。



【1級トレーニングハンド規定】

2020年8月21日改定

1級実技試験はトレーニングハンドのみの受験とします。モデル同伴での受験は出来ません。

- 1人2個、下記の条件のトレーニングハンドをワンセットで使用すること。
 - ①右手用、左手用をそれぞれ1個ずつ
 - ②右手用を2個
 - ③左手用を2個「右手」「左手」が分かるようにトレーニングハンドの手首(手の甲側)の位置に「右手」「左手」と記載した品名ラベルを貼付するか、または黒マジックで事前に記入すること。もし、試験中に品名ラベルがはがれた場合は貼り直しをすること。審査開始時に黒マジックでの記入がされていない場合や品名ラベルが貼られていない場合は減点。
- トレーニングハンドは、キューティクル周りに著しい汚れ、傷など(審査に支障をきたすようなもの)がついていない清潔なものを使用すること。
- 既製品にあらかじめ加工されているもの以外に、自分で文字や線、目盛などを記入したトレーニングハンドを使用した場合は失格。
- トレーニングハンドを固定するためのアームや吸盤などは使用不可。
- 手首部分に「左手」「右手」の表記やラベル貼付をするため、手首部分があるものを使用すること。指の部分が着脱可能なトレーニングハンドは使用不可。
- トレーニングハンドは試験開始時には擦式清拭消毒をすること。トレーニングハンドに装着できるのは、チップ、フォーム、「(右手)」「(左手)記載の)品名ラベルのみとする。
 - ①トレーニングハンドの指部分が固い場合、指間を広げる指を下向きにするため、相応の力が必要であるが、出来る限り人の手と同様に丁寧に扱うこと。
 - ②トレーニングハンドの指間が広げにくい、広げても元に戻りやすい場合、指間への挟み込みを消毒済みのCカーブ用スティックのみ使用可能とする。
- 使用するチップはナチュラルのみとし、事前に10本すべてに装着してくること。チップの装着方法の指定はないが、試験中に外れないように装着すること。試験中にチップが外れた場合はすぐに付け直すこと。審査開始時にチップが外れていた場合は失格。また、試験終了時にはすべての指を伸ばしておくこと。試験終了時にすべての指が伸びていない場合は減点。
- 装着するチップは、モデルに施術する場合と同じように、フリーエッジの長さや形を整えておくこと。ただし、サンディングは試験時間内に行うこと。
- サイズのあっていないチップを使用した場合や、チップの装着状態が不適切な場合は減点。また事前にサンディングをしている場合も減点。
- ミックスメディアアートのプレスオンチップは、事前に装着しているチップの上に装着すること。
- テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、タオル、ペーパーの上で施術を行い、直置きしないこと。

※この度のトレーニングハンドの使用は、コロナ禍における期間限定(9月19日(土)と12月26日(土)に開催の『1級実技試験』)の特例措置といたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、上記特例措置の期間が延長となる場合があります。